

中学校・理科

【 物理的領域 】

<定着が見られる内容>

- 基本的な実験技能の知識は身に付いている。
- 実験結果等から身に付けた知識をもとに、身の回りの自然現象を説明する力は概ね身に付いている。

<課題が見られる内容>

- ◆基本的な法則を用いた計算演習等にやや課題がある。

指導改善のポイント

☆計算等の知識の定着を図るために、授業中の問題演習の時間を十分に確保していく。

【 科学的領域 】

<定着が見られる内容>

- 質量保存の法則をもとに、化学変化の様子についてモデルを用いて説明する力は身に付いている。
- 原子記号についての理解度が高い。

<課題が見られる内容>

- ◆実験の目的に沿うように、条件制御の知識やそれに伴う技能等を活用しながら、実験方法を検討する力に課題がある。

指導改善のポイント

☆授業で行う実験について、与えられた実験方法に取り組みさせるだけでなく、自分たちで実際にその方法を考え、工夫する時間を設ける。

【 生物的領域 】

<定着が見られる内容>

- 植物のはたらきや動物の身体づくり等、基本的知識は身に付いている。

<課題が見られる内容>

- ◆神経系のはたらきについての理解度にやや課題がある。

指導改善のポイント

☆今後も、直接五感を使って実感させる授業づくりを行う。

【 地学的領域 】

<定着が見られる内容>

○地震の揺れや強さの伝わり方等、地震に関する分野での知識やそれをもとに活用する能力は概ね身に付いている。

<課題が見られる内容>

- ◆気象の分野で、平面の天気図が表す風向と実際の目の前に広がる風景とを関連させて考える、空間認識能力に課題がある。
- ◆既知の内容を用いて、湿度が高くなる原因を説明することに課題がある。

指導改善のポイント

☆授業で学習している内容が、身のまわりの現象と結びつくようにするため、具体的な気象現象とどのようにつながるのか、考えさせる指導を行う。

今後に向けて

- ⇒「科学的な思考・表現」する力を身に付けさせるために、
- ① 実験や観察を通して身に付けたことを用いて、身近な自然現象のしくみを自分なりに考えさせたり説明させたりする学習の時間を十分に確保する。
 - ② よりの確に表現する方法を身に付けさせるため、自分の考えを文章表記させる機会を多く作る。